



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ゲオホールディングス
 コード番号 2681 URL <https://www.geonet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 遠藤 結蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部GM (氏名) 梶田 義章 TEL 052-350-5711
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	243,396	9.6	4,457	△37.2	4,774	△37.5	1,018	△75.8
2020年3月期第3四半期	222,041	2.2	7,099	△45.1	7,637	△45.0	4,218	△50.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,092百万円 (△74.2%) 2020年3月期第3四半期 4,240百万円 (△49.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	24.03	23.98
2020年3月期第3四半期	97.32	97.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	178,952	74,736	41.5
2020年3月期	144,702	75,016	51.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 74,341百万円 2020年3月期 74,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2021年3月期	—	17.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	△1.7	6,000	△40.1	6,400	△40.5	3,200	△16.8	75.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	42,405,952株	2020年3月期	43,929,488株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	－株	2020年3月期	1,530,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	42,400,574株	2020年3月期3Q	43,341,901株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛により、消費活動・経済活動に停滞ムードが漂い続けるものでありました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、店舗営業時間の短縮対応、従業員のマスク着用、アルコール消毒等を関係機関からの指針に従って実施し、お客様・従業員の安全に十分に配慮しながら商品・サービスの提供を行い、「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、様々な取り組みを続けております。

営業概況といたしましては、レンタルの巣ごもり需要は6月以降急速に縮小し、コロナ禍での新作の供給不足も加わりレンタル映像市場の下降トレンドは加速度を増している状況となりました。しかしながら、物品販売についてはゲームソフト並びにハードに対する巣ごもり需要は継続しており、新品商材の売上は比較的順調な推移が継続しました。セカンドストリートを中心とするリユース系リユース商材については外出自粛の影響を受け、特に主力のリユース衣料・服飾雑貨の不調が続いております。

売上高は243,396百万円と前年同期を上回りましたが、キャッシュレス決済の増加に伴う販売手数料と買取強化・来店誘引のための広告宣伝費・販売促進費等販売費の増加、セカンドストリートを中心とする店舗出店に伴う人件費増加、新規フォーマット店舗の開発関係費用等販売管理費の増加を賄いきれず、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前期実績を下回る結果となりました。

新型コロナウイルスの経済活動に対する影響は長期化しておりますが、閉店を含めたゲオショップの店舗網の再構築と並行して、新型コロナウイルスの影響鎮静化後の経済回復を見据えて、セカンドストリートを中心とした出店は継続して行っております。リユース市場の深耕を継続し、また実店舗以外でも市場の成長が続きますインターネットを介した販売・サービスの提供について、オンラインサイト・アプリによる情報提供、買取り手法や集客施策等、お客様のニーズに対応する様々な販売・買取りの機会を増やすことで、当社グループのサービスをより簡便にご利用頂ける環境整備を進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高243,396百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益4,457百万円(前年同期比37.2%減)、経常利益は4,774百万円(前年同期比37.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,018百万円(前年同期比75.8%減)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

() 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	F C店	合計
ゲオグループ店舗数	1,758 (+30)	101 (+4)	100 (△13)	1,959 (+21)
メディア系店舗	1,028 (△25)	101 (+4)	46 (△14)	1,175 (△35)
ゲオモバイル(単独店舗)	19 (△6)			19 (△6)
リユース系店舗	665 (+47)		54 (+1)	719 (+48)
OKURA TOKYO	14 (+7)			14 (+7)
ウェアハウス	11 (△2)			11 (△2)
オフプライス・ストア	8 (+3)			8 (+3)
その他	32 (0)			32 (0)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. メディア系店舗は家庭用ゲームの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗(屋号:ゲオ、ゲオモバイル、ゲオスピード)をカウントしています。

3. ゲオモバイルはメディア系店舗に併設されていないモバイルショップを指します。

4. リユース系店舗は衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗(屋号:セカンドストリート、スーパーセカンドストリート、セカンドアウトドア、ジャンブルストア等)をカウントしています。

5. 前連結会計年度はその他にカウントしておりましたOKURA TOKYOとオフプライス・ストア(屋号: Luck・Rack CLEARANCE MARKET)を単独表示に変更しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は122,770百万円となり、前連結会計年度末に比べ33,111百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が25,204百万円、商品が6,482百万円増加したことによるものであります。固定資産は56,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,137百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産のその他(純額)が920百万円減少しましたが、建物及び構築物(純額)が1,562百万円、無形固定資産が389百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、178,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ34,249百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は50,179百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,945百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が7,000百万円、買掛金が3,479百万円、未払法人税等が1,155百万円、1年内返済予定の長期借入金が950百万円増加したことによるものであります。固定負債は54,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,583百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が18,337百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、104,216百万円となり、前連結会計年度末に比べ34,529百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は74,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,018百万円及び剰余金の配当1,441百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は41.5%（前連結会計年度末は51.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月11日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,598	57,803
受取手形及び売掛金	10,080	10,060
商品	38,186	44,669
その他	8,901	10,346
貸倒引当金	△108	△109
流動資産合計	89,658	122,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,647	15,210
その他(純額)	15,884	14,964
有形固定資産合計	29,532	30,174
無形固定資産	1,885	2,274
投資その他の資産		
敷金及び保証金	16,490	16,818
その他	8,090	7,899
貸倒引当金	△955	△986
投資その他の資産合計	23,626	23,732
固定資産合計	55,044	56,181
資産合計	144,702	178,952
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,039	14,519
短期借入金	5,000	12,000
1年内返済予定の長期借入金	3,737	4,687
未払法人税等	1,268	2,424
その他	13,188	16,548
流動負債合計	34,233	50,179
固定負債		
長期借入金	25,956	44,293
資産除去債務	6,505	6,695
その他	2,991	3,047
固定負債合計	35,453	54,036
負債合計	69,686	104,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,969	8,975
資本剰余金	3,382	3,388
利益剰余金	64,218	61,795
自己株式	△1,999	-
株主資本合計	74,569	74,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113	177
繰延ヘッジ損益	△3	△2
為替換算調整勘定	△0	7
その他の包括利益累計額合計	108	182
新株予約権	338	394
純資産合計	75,016	74,736
負債純資産合計	144,702	178,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	222,041	243,396
売上原価	130,238	148,451
売上総利益	91,803	94,945
販売費及び一般管理費	84,703	90,487
営業利益	7,099	4,457
営業外収益		
不動産賃貸料	509	564
その他	613	810
営業外収益合計	1,123	1,374
営業外費用		
不動産賃貸費用	283	405
その他	301	652
営業外費用合計	584	1,058
経常利益	7,637	4,774
特別損失		
事業撤退損失	-	548
減損損失	116	294
関係会社株式評価損	-	158
特別損失合計	116	1,001
税金等調整前四半期純利益	7,521	3,772
法人税、住民税及び事業税	2,698	2,646
法人税等調整額	604	107
法人税等合計	3,302	2,753
四半期純利益	4,218	1,018
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,218	1,018

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,218	1,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	64
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	△7	8
その他の包括利益合計	21	74
四半期包括利益	4,240	1,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,240	1,092

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社は、2019年6月28日付の取締役会決議に基づき、自己株式1,530,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,999百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社は、2020年11月27日付の取締役会決議に基づき、2020年12月30日付で、自己株式1,530,536株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,999百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が61,795百万円となっております。自己株式の残高はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。